



第168回一般社団法人静岡県医師会定時代議員会 会長挨拶

静岡県医師会会長 篠原 彰

本日はご多忙の中、第168回静岡県医師会定時代議員会にご出席を賜り誠にありがとうございます。去る5月28日に開催されました臨時代議員会において、代議員の先生方のご推挙により3名の新たな理事を加え新執行部が誕生いたしました。私も二期目の会長となりますが、粉骨砕身山積した課題に取り組んで参りますので、新執行部への一層のご支援をお願い申し上げます。

ところで、4月14日に起こった平成28年熊本地震では、家屋の倒壊や地滑り等により49名の方が亡くなり、未だにお一人が行方不明となっています。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

静岡県医師会といたしましては、発災二日後の16日に災害対策本部を設置し、日本医師会、静岡県健康福祉部との情報交換を行うとともに、日本医師会からの指示に従い、JMAT派遣に向けての準備を行いました。郡市医師会のご協力により、多くのJMATチームにスタンバイしていただきましたが、日本医師会からの出動要請は思ったより少なく、最終的には島田市医師会のレシャード先生と志太医師会の杉浦先生の2チームに熊本県菊池郡大津（おおづ）町に出動していただきました。その後、社会福祉協議会のボランティアとして出動していただいた小笠医師会の佐野先生を含め、被災地での救護活動にご尽力された先生方、そして多くの義援金をお送りくださった先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。

さて、代議員の皆様もご承知の通り、去る5月27日、安倍総理は2017年4月に予定されていた消費税の10%への増税を、2019年10月まで2年半延期する方針を固めました。国民の多くが上げては欲しくない消費税ではありますが、少子高齢社会における社会保障財源の確保という明確な目的の下に、10%への増税は2012年6月の民主党政権時に民自公の三党合意により決まっていたものです。また、8%から10%への増税についても、当初は2015年10月に実施されることになっていたのですが、アベノミクス道半ばということで1年半延期され2017年4月に実施するとされてきました。

当時安倍総理は、「再び延期することはない。リーマンショックや東日本級の大震災でも起こらない限り確実に実施する」と明言していました。それが、5月27日の伊勢志摩サミットが終わった後に、世界経済の不安定さやデフレ脱却の困難さを理由に再び増税の延期を決めてしまいました。与党である自公両党を含め、様々な方面から社会保障財源確保への不安が噴出しているのは当然のことです。赤字国債の発行はしない、総理の思い入れの深い一億総活躍社会への施策を進めるために子育てや介護には全力を尽くすということであれば、しわ寄せが来るのは医療であることは間違いありません。2018年に実施される医療介護同時改定に向けて、医療と介護の財源確保は政権政党にとって極めて重要な課題となります。日医執行部にはこの2年間の最重要課題として取り組んでいただかねばなりません、我々も重大な

関心を持って今後の成り行きを注視していく必要があると思っております。

ところで、一昨年6月に制定された医療介護総合確保推進法に基づき、静岡県では本年3月末に開催した静岡県医療審議会において地域医療構想を策定いたしました。今後は、県下8か所の医療圏域を構想区域と定め、それぞれの圏域における地域医療構想調整会議の場において、地域における効率的・効果的な医療提供体制を確保するための検討を行っていただくこととなります。この6月より、地域医療構想調整会議は各圏域において順次開催されることとなっておりますが、昨年来、郡市医師会長協議会で再三お願い申し上げてまいりましたように、8か所の医療圏域での調整会議の会長には、それぞれの地域の郡市医師会長にお引き受けいただきました。

会長になられた先生方には大変なご苦勞をおかけすることと存じますが、地域医療の担い手の代表として、各市町における地域包括ケアシステム構築の第一歩としてご尽力いただけますようお願い申し上げます。

地域医療構想調整会議では、高度急性期から慢性期までの病床機能の現状と2025年における病床必要量を勘案しながら、病床の機能分化・連携の推進、慢性期医療の在り方の検討、そして在宅医療の充実の3点を中心にご検討いただくこととなります。特に、我々のかかわりの深い在宅医療等の必要量に関しては、訪問診療を受けている患者数に、老人保健施設等のサービス受給者数、療養病床の入院患者の一部、サービス付高齢者住宅等の入居者を加え、2025年の必要量は約40,000人と、現在の約27,000人と比較して150%近い需要が生まれることが予測されています。在宅医療の充実は、本会に課せられた重要な使命でもあり、地域医療介護総合確保基金を活用しながら、2025年に向けての体制づくりに一層の努力が必要であると思っております。

さて、本会では平成27年度の事業計画において四つの重点項目を掲げてまいりました。①2025年に向けての地域医療提供体制の整備、②多職種連携の推進による在宅医療体制の構築、③医師会員の加入促進を通じた県医師会の組織力の向上、お

よび④会館の耐震化と将来計画の検討についてであります。これらの進捗状況は後程担当からご説明申し上げますが、地域医療提供体制の整備につきましては、先ほど述べました地域医療構想が2018年度からの次期の静岡県保健医療計画にも反映されることより、本県の医療提供体制づくりを郡市医師会や病院協会、関連職種の人たちと連携しながら、地域医療部を中心に全力を挙げて取り組んでいるところです。

在宅医療体制の構築につきましては、これからが本番となる超高齢社会への対応として、平成23年度より静岡県在宅医療推進センター事業を推進し、本県の在宅医療体制の整備・充実に向けて諸事業に取り組んでまいりました。平成27年度には新規事業として「在宅医療推進員」を郡市医師会に配置していただきました。平成27年度は4郡市医師会、28年度は8郡市医師会において実施していただいておりますが、地域における医療、介護資源の把握とその有効活用、退院支援の推進、そして会員の先生方への在宅医療への参加促進等のコーディネーター機能を持つ在宅医療推進員のご活躍を大いに期待しております。

また、ICTを活用した県版在宅医療連携ネットワークシステムについては、全県域における運用を平成27年度より開始いたしました。本システムは、平成30年度までに全ての市町が取り組まなければならない在宅医療・介護連携推進事業の有効なツールとなることから、郡市医師会におかれましても、積極的なご活用、市町への働きかけをお願いいたします。なお、本年度より会内に医療介護連携政策部を新設いたしました。地域包括ケアシステムの構築に向けて、在宅医療と介護の連携の推進に一層取り組んで参りたいと考えております。

会員加入促進による組織力の向上につきましては、昨年度、主として勤務医の先生方を対象として、医師会員であることのメリットにつなげる活動を展開するため、全役職員を4つのグループに分け、医師信用組合、医師協同組合も交えて検討を重ねました。

具体的には、病院勤務医を対象としたグループでは勤務医向けの入会パンフレットを作成し、研修会に参加する非会員に入会の働きかけを行い、研修医を対象としたグループでは、研修医や指導医が参加する講演会や、病院の初期研修医のオリ

エンターションなどの際に本会の活動内容等を紹介していただきました。会員の医業と日常生活面をサポートするグループでは、医師協同組合の購買事業の拡張や、医師信用組合の研修医・勤務医応援モーターローンを活用するとともに、新たな商品開発も検討しております。4つ目の各グループの側面支援を行うグループでは、本会ウェブサイトのリニューアルに合わせて、会員であることのメリットや入会手続き、各組合の割引制度や融資支援等を掲載いたしました。また、本年度は、新たに勤務医委員会を設置して勤務医の労働環境の改善等に取り組むとともに、引き続き、研修医との交流や出産や育児を伴う女性医師支援にも取り組んでまいります。

ところで、静岡県医師会館は、昭和46年に1・2階部分を県立中央病院、3階部分を高等看護学院として竣工し、今年で築45年となります。近年は老朽化が進み、毎年の修繕費用が高んでいたことから、平成26年度に、計画的に保守・管理することを目的に、10年先を目処とした「中期修繕計画」を立てることいたしました。計画の立案にあたり、建築の専門家等に相談したところ、まずは現状の建物強度を正確に把握する必要があるとの指摘を受け、平成27年度に「耐震診断」を実施いたしました。

「耐震診断」の結果、耐震性が想像以上に低い評価であったため、建築の専門家からは、「今後、『耐震補強工事』を選択して費用と時間をかけて会館の使用を延長するのか、それとも、建て替えを含めた他の方法を模索するのか、早期の対応が望まれる」との助言を受けました。当初は、昨今の建築費高騰の要因とされる東京オリンピックが閉幕し、建築費が下落傾向に転じるまでは、会館の「耐震化」をはかり、継続的に使用していく方向で考えておりましたが、先ほど説明したとおり、本会館は竣工してから45年が経過し、二世前前の耐震基準のもとに建設されているため、現在の耐震基準で診断しますと、「地震が発生した際、倒壊する恐れのある危険な建物」ということが判明いたしました。このような経緯から、平成28年度は3回の定例理事会で今後の会館運用について慎重審議を行った結果、今後は次期執行部のもと早急に委員会を設置し、会館の建て替えについての

検討を行っていくことといたしました。

本件につきましては、非常に重要な案件と認識しておりますので、近年会館の建て替えを行った他県医師会からの情報収集を行うとともに、専門家の意見を伺いながら、委員会を中心として慎重かつ速やかに検討を開始したいと考えております。

本日は、第1号議案の平成27年度一般社団法人静岡県医師会決算の件、及び2件の報告事項がございます。よろしくご審議の上ご承認くださいますようお願い申し上げます、私からの冒頭のご挨拶とさせていただきます。

(平成28年6月18日)